

鎌ケ谷市施策評価表(事後)

施策の名称	411地方分権と市民参加の推進		
施策のねらい(めざす姿)	市民と行政が情報を共有し、共通の目標に向かってお互いの責任を自覚し、役割を分担しながら自らの選択と責任で協働のまちづくりをしています。		
基本目標	4計画の実現のために	施策担当マネージャー	総務企画部次長
政策	41計画の実現のために	マネージャー氏名	山崎正史

I 改革・改善内容(=施策をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	地方分権と市民参加は、自治体としての市の行政運営の基本であり、その重要性は高い。したがって、本施策は、市民と一体となって一層拡充していく必要がある。	③改革・改善内容	「鎌ケ谷市 市民との協働戦略プラン(改訂版)」の策定や、市民提案協働モデル事業制度の改正を行い、各施策の積極的な展開を図る。
②①に基づく取り組み結果	市民活動推進センター及びセンターのウェブページをリニューアルし、イベント情報や周知活動を積極的に行い、市民活動推進センターのウェブアクセス数も増加した。		

II 施策の目的・概要

①目的	対象	市の行政運営及び市民	意図(対象をどうするのか)	市は、個性あるまちづくりのため、自主性・自立性を高めていく。市民が積極的にまちづくりに参加する。
②施策の概要	個性豊かで活力に満ちた地域社会の実現を図るため、自主性及び自立性を高め自らの判断と責任において行政運営を行い、なお一層市民との協働によるまちづくりを進める。			
③環境分析(状況変化や今後の見込み・市民意向など)	少子高齢化や地方分権の進展といった社会的変化により、協働を取り巻く環境は著しく変化しており、その重要性はますます高くなってきている。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成25～26年度の施策の成果	市民活動推進センターのリニューアルオープン、センターウェブページのリニューアル、市民活動支援補助金制度の改正など、協働を推進するための環境整備に努めた。						
②施策成果指標	指標名称		単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	目標値(27年度)
	i	市政に関する情報を得られている市民割合(市民意識調査)	%	—	38.2	—	43.0
	ii	過去1年間に地域活動をした市民割合(市民意識調査)	%	—	61.2	—	66.0
	iii	市民の意見や要望が市政に反映されていると思う市民割合(市民意識調査)	%	—	26.0	—	40.0
③基本事業成果指標	iv	市政への参加の機会が進んだと思う市民割合(市民意識調査)	%	—	12.2	—	25.5
	i	地方分権戦略プラン実現率	%	50	62.5	62.5	75
	ii	市内NPO法人数	法人	26	26	26	27
	iii	1回あたりパブリックコメント意見件数	件	6	7	13	20
	iv	過去1年間に地域活動に参加した市民割合(市民意識調査)	%	—	61.2	—	66.0
	v	市民協働提案事業提案件数	件	1	1	—	5
	vi	審議会公開率	%	29	28	調査中	34
	vii	知りたい情報の提供・公開が進んだと思う市民割合(市民意識調査)	%	—	24	—	28
	viii						
ix							
④施策の事業費	平成25年度決算	平成26年度決算	市民一人あたり事業費(26年度決算)	平成27年度予算			
事業費(千円)	74,497	108,090	(単位:円)	995円	123,756		

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	全国的にボランティア意識が高くなる傾向の中、本市の「まちづくり活動への参加意識」は低い傾向にあることから、より一層の意識の醸成が必要。		
②総合評価	2概ね達成	③総合評価の理由	市民活動推進センターのリニューアルオープン、センターウェブページのリニューアル、市民活動支援補助金制度の改正など、協働を推進するための環境整備が整ってきている。

V 今後の方向性

①成果の方向性	↑向上	②コストの方向性	→維持
③特に重点化する事務事業	協働に要する経費		
④上記方向性の説明	「鎌ケ谷市 市民との協働戦略プラン(改訂版)」を策定し、より一層戦略的に協働を推進していく。		